

教科(科目)	国語（言語文化）	単位数	2単位	学年	1学年
使用教科書	第一学習社『高等学校 標準言語文化』				
副教材等	大修館書店『新全訳古語辞典』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	卒業までにこのような資質・能力を育みます。 ①明確な目標を設定し、その達成に向けて継続的に努力できる力を育成します。 ②主体的・意欲的に学びに向かう姿勢と、誠実で礼儀正しい態度を育成します。 ③前向きに自己の向上に努め、思いやりを持って行動できる力を育成します。 ④自ら課題を見つけて解決しようと行動し、社会に貢献する力を育成します。
カリキュラム・ポリシー	上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います。 ①基礎的・基本的な学力の定着を図るとともに、ICTの活用など工夫をし、生徒が主体的・対話的に学習に取り組めるよう「分かる」授業の実践・改善に努めます。 ②総合的な探究の時間では、教科等横断的な視点で、地域社会と自己との関わりから課題を発見し、多様な他者と協働して解決しようとする活動に取り組みます。 ③生徒個々の持っている長所・能力を最大限伸ばし、生徒が自らの可能性に挑戦し、進路希望を実現できるようキャリア教育を推進します。 ④社会に貢献する姿勢を身に付けさせるために、新潟県立大学との交流、地域行事への参加、ボランティア活動などへの積極的な参加を促進します。

2 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりを通して伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会と関わろうとする態度を養う。

3 指導の重点

進路が多岐にわたること、成人年齢の引き下げによって在学中に成人になることを考慮して、 ①社会生活に必要な国語の知識や技能などを身につけることを目指す。 ②特に古典の知識や技能などを身につけることを目指す。 ③我が国の言語文化の担い手としての自覚を養う。
--

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりを通して伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会と関わろうとしている。

5 評価方法

	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	・定期考査、小テストの分析 ・授業の取り組み（音読、漢字練習など）の観察 ・ワークシート等の提出物の内容の確認 などから評価します。	・定期考査、小テストの分析 ・授業の取り組み（音読、漢字練習など）の観察 ・ワークシート等の提出物の内容の確認 などから評価します。	・授業の取り組みの観察 ・ワークシート等の提出物の内容の確認 などから評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。		

6 学習計画（その1）

月	単元名	授業時数 と領域	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	伝統と文化	2「読むこと」	「新潟北高等学校校歌」	・常用漢字を適切に読み書きし、文中の語句の意味を理解している。 ・歌詞の内容を理解している。 ・歌詞の内容を踏まえて、母校の伝統と理想とする生徒像について理解している。	2	授業の取り組み ワークシートの取り組み、提出 定期考査、小テスト
4 5	小説を読む (一)	7「読むこと」	「とんかつ」	・常用漢字を適切に読み書きし、文中の慣用表現の意味を理解している。 ・登場人物のせりふや行動から人物像や心情を読み取ることができる。 ・謎の母子の登場に始まる話の構成と展開を理解することができる。	7 1	授業の取り組み ワークシートの取り組み、提出 定期考査、小テスト
5 6	古典入門	7「書くこと」	「児のそら寝」	・歴史的仮名遣いに注意して古文を正しく読むことができる。 ・古語の意味を調べて、現代語訳することができる。 ・現代に通じる話のおもしろさや巧みな人物描写を読み取ることができる。 ・学習課題に従って、作品理解を深めようとしている。	7 1	授業の取り組み ワークシートの取り組み、提出 定期考査、小テスト
7 8	漢文入門 故事成語	15「読むこと」	訓読に親しむ（一）、（二）、（三） 「五十歩百歩」	・返り点、助字、再読文字の種類と訓読のしかたに従って正しく訓読することができる。 ・現在使われている格言や熟語が、漢文に由来していることを理解している。 ・故事成語の由来となった話を読み、古語と現代語の関わりについて理解している。	15	授業の取り組み ワークシートの取り組み、提出 定期考査、小テスト
9 10	小説を読む (二)	14「読むこと」	羅生門	・常用漢字を適切に読み書きし、文中の慣用表現の意味を理解している。 ・登場人物のせりふや行動から人物像や心情を読み取ることができる。 ・学習課題に従って、作品理解を深めようとしている。	14 1	授業の取り組み ワークシートの取り組み、提出 定期考査、小テスト
	定期考査	1				

学習計画（その2）

月	単元名	授業時数 と領域	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
10 11	歌物語を読む	9「読むこと」	『伊勢物語』 東下り	・歴史的仮名遣いに注意して正しく読むことができる。 ・古語の意味を調べて、現代語訳することができる。 ・話中の和歌の意味を理解し、和歌が果たしている役割と歌物語の読み解き方を理解している。 ・学習課題に従って、作品理解を深めようとしている。	9	授業の取り組み ワークシートの取り組み、提出 定期考査、小テスト
	定期考査	1			1	
12	漢詩の鑑賞	5「読むこと」	「静夜思」「送元二使安西」「春望」	・漢詩のきまりを理解している。 ・漢詩のきまりを踏まえて、定型詩の中の限られた語句を通して作品の情景や心情を読み取ることができる。 ・技法（押韻、対句など）の効果について理解している。 ・学習課題に従って、作品理解を深めようとしている。	5	授業の取り組み ワークシートの取り組み、提出 定期考査、小テスト
1	定期考査	1			1	
2 3	短歌と俳句	6「読むこと」	清水へ・手毬唄	・短歌、俳句のきまりを理解している。 ・短歌、俳句のきまりを踏まえて、定型詩の限られた語句を通して作品の情景や心情を読み取ることができる。 ・学習課題に従って、作品理解を深めようとしている。	6	授業の取り組み ワークシートの取り組み、提出 定期考査、小テスト

計70時間（50分授業）

※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	「書くこと」8時間	「読むこと」62時間
-----------------	-----------	------------

7 課題・提出物等

- ・授業で活用したワークシートは必ず提出してもらい、その内容等で「主体的に学習に取り組む態度」を評価します。
- ・様々な作品に触れて読書に親しむ態度を養い、自己を向上させる目的で、長期休業中に課題を出します。提出されたものを評価の観点に基づいて評価します。

8 担当者からの一言

各分野の多様な作品を読解し鑑賞することで、豊かな感受性と想像力を養うことを意識して授業に臨んでください。古典作品が現代の言語活動や文化に及ぼした影響について理解することで、言語による文化の豊かさを味わい、社会生活を豊かにする知性と教養を培ってください。